

箕面市地域公共交通総合連携計画策定調査

実施計画概要

箕面市の交通体系は、バスによる市内移動に対して市民満足度が低く、過度に自家用車に依存した状況にある。今後、高齢化の進展により、自家用車の利用を控える市民が増えることが予測されることから、公共交通（バス交通）主体のまちづくりへ転換を図るため、市内バス路線網の充実や利便性の向上が必要不可欠である。そのため、市内ローカルバスサービス改善による公共交通利便性の向上を図るため、新たなバス交通の整備や公共交通利用促進策を行う。

事業実施概要

検討の経緯

■21年3月:第1回協議会

- ・規約等合意
- ・連携計画策定事項(案)
- ・スケジュール

■21年5月:第2回協議会

- ・検討の枠組み

■21年8月:第3回協議会

- ・各種調査結果
- ・運行計画(案)
- ・検討の枠組み(収支、見直し基準)

■21年11月:第4回協議会

- ・運行計画(案)
- ・収支、評価見直し基準
- ・利用促進策(案)

■22年2月:第5回協議会(予定)

- ・総合連携計画案
- ・実証運行事業者契約手法

2月までの検討状況(計画素案)

【基本的な方針】

市内移動を中心としたバスにおける路線網と公共交通機関の連携等を改善し、生活交通の確保、環境負荷の低減、市民活動の促進、地域商業の活性化等を目的とした公共交通体系を構築する

【区域】

箕面市
全域

【計画期間】

【連携計画の期間】
平成22年～平成30年
【重点施策事業計画】
平成22年～平成25年

【目標】

- 安心:** すべての人が気兼ねなく利用できる公共交通サービスを提供する
- 便利:** 市民ニーズの高い目的地への公共交通アクセスを確保する
- 元気:** 人と地域の活性化と地球環境問題に対応する
- 連携:** 関係者が協力して公共交通の利用促進策を実現する
- 持続:** 持続可能な公共交通ネットワークを確立する

【重点施策事業・実施主体(予定)】

●新たなバス交通の整備

現行の箕面市公共施設巡回福祉バス(Mバス)に代わって新たに市内を循環するバスを実証運行の形で新たに走行させ、路線バスとの連携や役割分担を行う。<協議会(バス事業者に委託)>

●路線バスと新たなバスとの連携

お互いに共存・共栄することで、箕面市内のバス路線網の維持・向上を図る。<バス事業者、協議会>

●鉄道と新たなバス等との連携

鉄道と連携して公共交通を利用した移動を促進する。<鉄道事業者、協議会>

●公共交通の利用促進

連携計画の目標を実現するために、公共交通の利便性向上や利用促進につながるハード、ソフトの施策を行政や事業者だけでなく、市民、NPO、商業関係者等の関係者と連携・協力して実施する。<協議会、箕面市、交通事業者、商業関係者、市民団体等>

・法定協議会を適切に開催し、本市における公共交通、特に箕面市内の生活交通(バス交通)の課題を幅広く把握した上で、連携計画の基本方針を踏まえた目標を設定し、当該目標を達成するための事業を具体的に検討する等、連携計画の策定に向けて必要な調査を行った。また、計画事業の実施に向けて市民、商業者等地域関係者や交通事業者と実質的な合意形成を図った。